

第6学年 外国語活動指導案

3 本時の目標

既習の道案内の表現と買い物表現の両方を使い、さらに詳しく道案内ができる表現“Next to ~.” “Near ~.” “Between ~ and ~.”を活用しながら、伝え聞くことに慣れ親しむことができる。

4 本時の展開(5/5)

日時:平成 年 月 日() 第 校時
 場所:体育館
 指導者:HRT: , ALT:
 児童数:男 名、女 名

1 単元名
 [Turn right.]

2 指導の立場

(1) 子どもの実態

外国語活動の時間を楽しみにしている子どもは多い。ALTの後に続いて練習する場合や学級の仲間とインタビューをして交流する場合などは大きな声が出たり、男女関係なくペアを作ったりして学習することができている。「Treasure time」の時のALTのインタビューに挑戦する子どもは固定化している。みんなの前で話すということに自信をもっている子どもは少ない。全体的に練習は英語を一生懸命使おうとするが、ペア学習になると日本語に頼る子どもが多い。「修学旅行に行こう」では、長い文章を記憶して話すことに苦戦しながらも、一生懸命話そうとする姿勢は多くの子どもがもっていた。繰り返し練習し、自信をもって話せるように活動を続け、修学旅行での交流や、人物クイズの交流、道案内をする活動などを経て、少しずつ自信をもって話せるようになってきている。買い物に関わるゲームは、5年生までの学習で何度か経験をしている。今回は、道案内のゲームが中心となる。相手の話す内容で自分が話す内容が変化するため、メモをしたり、お互いに何を話すのか、助け合いながら会話を進めたりしていく必要がある。

(2) 本時の指導にあたって
 [必然性のある活動の設定]

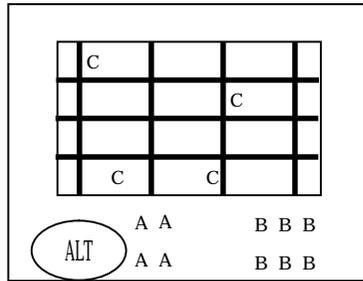
本時はALTからのお遣いの注文を受け、店を探すために道案内をしてもらい、お店で商品を購入し、ALTまで届けるという“お遣い”を一連の流れとして設定した。お願いされた商品を手に入れるために、店の位置を探さなければいけない。そのためには道案内係がキーとなる。道を正確に伝えること、聞き取り、指示通りに動くことが必要となり、今回の単元のまとめの活動となる。また、お遣いの商品については、子どもの実態に合わせてALTが選択し、買い物の際は、実際にお金を使うなど、子どもが意欲的に活動できるように活動の場を設定した。

[教材教具の活用方法]

道案内のための表現を覚えるだけでなく、実際にその指示通りに動くことが子どもの表現の習得・意欲の向上につながる。そのため、今回は体育館を使い、実際に床に貼られた道路を歩き、フィールドの中に作られた店で買い物をさせる。だれがどの係なのか分かるようにするための名札やそれぞれの立場に合わせた内容に活動カードを利用する。また、興味関心を高めるために、商品はただ渡すだけでなく、実際にお金を払うという活動を取り入れる。

活動の流れ	主な活動内容		指導・援助 〔評価規準〕	
	児童の活動	教師の活動		
Hello time	日直:Let's start English. Yes, let's. 日直:Hello, everyone. Hello, 日直. Hello, Mr.Mizuno. Hello, Aimee sensei 日直:Sit down, please. Yes	HRT Hello, everyone.	ALT Hello, everyone.	・既習の表現を使って受け答えをし、楽しい雰囲気の中で学習が始められるようにする。
Today's aim	Today's aim. (ALTに続いて言う) ・ALTとHRTスキットを見て、本時の表現や課題をつかむ。	Today's aim.(子どもと一緒に) ・本時のスキットを見せ、本時の課題へとつなげる。 Today's aim is this.	Today's aim. Please watch our skit. ・本時のスキットを見せる。	・本時の課題やポイント(クリアーボイス・助け合い)がつかめるようにスキットを見せる。
Today's points	Today's points. (ALTに続いて言う) Clear voice, eye contact, helpfulness	Today's points. (子どもと一緒に) What is today's point? ・本時のポイントを提示する。	Today's points.	
Practice time	Practice time (ALTに続いて言う) ・既習の表現を復習する。 ・本時の表現(Next to ~./Near ~./Between ~ and ~.)を練習する。	Practice time. (子どもと一緒に) ・本時の表現部分を繰り返し練習できるようにする。 ・子どもと一緒に練習する。	Practice time ・英語ノート「Hi, friends!2」の写真を指しながら会話する。 ・チャンツを使って発音する。	・言い方が分からない子どもに寄り添い、一緒に練習する。
Challenge time	Challenge time (ALTに続いて言う) ・会話の流れを確認する。 ・役割毎に会話を練習し、表現を確認する。 ・A(お遣い係)、B(道案内係)、C(店員)のそれぞれに別れて担当する係をする。 ・15分でA、B、Cの役割を交代する。 ・Aが「Help me.」と声をかけたら、Bが反応し、道案内をする。 ・Bはそれぞれどこから道案内をするのかが決まっている。	・会話の流れを説明する。Challenge time (子どもと一緒に) ALT: I need two carrots for curry and rice. Please go to vegetable store and buy it. A: Help me. B: O.K A: Where is the vegetable store? B: Go straight. Turn left. Go straight. Between bank and school. (Aはメモ). A: Thank you. (動く) 確認・聞き返しの言葉の繰り返しや“oh!” “pardon?”も使う。 分からなくなったら、聞きに戻ることも可	C: May I help you? A: Hello. I'd like to buy some carrots. (店を間違えた時) C: Sorry. I don't know. A: Thank you. See you. 道案内係のもとへ戻る C: How many carrots do you want? A: Two carrots please. How much is it? C: It '2 dollars. A: Here you are. C: Thank you. A・C: See you.	・役割毎に練習した後、確認したい表現がないか確かめる。 ・会話の途中で正確な英語表現を使っている子どもを紹介し、自分の表現を確認することができるようにする。 ・学習した表現を使い、お店までの道案内のやりとりやお店での注文のやりとりをはっきり伝えようとしている。 ・たくさん子どもと話ができるように、何回もお遣いに行くことができている。
Treasure time	Treasure time (ALTに続いて言う) ・上手に道案内をしていた仲間を発表する。今日の活動をふり返り、コメントを聞く。	Treasure time (子どもと一緒に) ・一生懸命聞き、伝え、教えていた子どもを認め、広める。	Treasure time ・英語表現や発音のよかった子どもを認め、広める。	・HRTは態度面について、ALTは技能面について評価する。 ・子ども同士で評価できるように発表の場を設ける。
Good-bye time	Good-bye time (ALTに続いて言う) 日直: That's all for today. Thank you very much, See you.	Good-bye time (子どもと一緒に) 日直 please. ・子どもと一緒に挨拶する。	Good-bye time See you.	

お店の位置を正しく伝え聞いて、お遣いを成功させよう。



4 単元指導計画：全5時間

(1) 目標

- ・仲間にインタビューする活動を通して、“Where is the ~ ?” “Go straight. Turn right/left.” “I'd like to buy some ~” の表現に慣れ親しむ。
- ・既習表現を使って「買い物・道案内ゲーム」をすることで、日本語と英語の建物の表し方の違いに気付き、仲間と積極的にコミュニケーションを図ったりする。

(2) 指導計画

時間	1	2	3	4・5(本時)
目標	ここはどこでしょうクイズを通して、英語での建物やお店の言い方に慣れ、“What's this?” “It's ~.” の表現を使って会話を楽しむ。	どこに行きたいのかインタビューする活動を通して、“Where is the ~ ?” “Go straight.” “right/left.” の表現に慣れ親しむ。	買い物ゲームの活動を通して、注文の表現 “I'd like to buy some ~” “や値段” How much is it? “、個数 How many ~ do you want? “を尋ね答える表現に慣れ親しむ。	既習の道案内の表現と買い物の表現の両方を使って、詳しく道案内ができる表現 “Next to ~.” “Near ~.” “Between ~ and ~.” を使って、お買い物ゲームを楽しむ。
学習活動	挨拶をする。 ショートスピーチを聞く。 本時の課題をつかむ。 建物やお店の名前を英語で言うと何というのか知り、お店当てゲームをしよう。 「Hi, friends! 2」に載っている建物やお店などを日本語で確認する。 ALT が出題するお店当てクイズに答え、お店当てクイズのやり方を知る。 お店当てクイズの表現(What 's this? /建物の名前/お店の名前/It 's ~./That ' right)を練習する。 全体でカードを使って、クイズを出し合う。 A: Hello. What 's this? B: It 's bookstore. A: That 's right. Here you are. B: Thank you A・B: See you 活動を振り返る。 終わりの挨拶をする。	挨拶をする。 ショートスピーチを聞く。 本時の課題をつかむ。 インタビューをして、相手の行きたい場所まで道案内をしよう。 ミッシングゲームをしながら建物・お店の名前を復習し、その後、本時の表現(Where is the ~ ? /Go straight./Turn right(left).)を練習する。 インタビューの仕方を確認する。 仲間にインタビューし、行きたい場所を聞く。 A: Help. B: O.K A: Where is the station? B: Go straight. Turn left. Go straight. Go straight. (A は地図上を動く) . A: Thank you. A・B: See you. 活動を振り返る。 終わりの挨拶をする。	挨拶をする。 ショートスピーチを聞く。 本時の課題をつかむ。 お店で買い物ができるようになる。 建物・お店の名前を復習する。 ALT が出題する買い物ゲームを見て、買い物ゲームのやり方を知る。 買い物ゲームの表現(May I help you?/ I 'd like to buy some ~./ Sorry. I don 't know./ 商品の名前/How many ~ do you want?/ 数/How much is it?/It 's ~ dollars.)を練習する。 お店係と買い物係に別れて買い物ゲームをする。 (A:客 B:店員) B: May I help you? A: Hello. I 'd like to buy some apples. B: How many apples do you want? A: Three apples please. B: Here you are. A: Thank you. How much is it? B: 6 dollars. A: Here you are. B: Thank you. A・B: See you. (店を間違えた時) A: Hello. I 'd like to buy some apples. B: Sorry. I don 't know. A: Thank you. See you. 活動を振り返る。 終わりの挨拶をする。	挨拶をする。 ショートスピーチを聞く。 本時の課題をつかむ。 お店の位置を聞いて、おつかいを成功させよう。 お買い物ゲームのやり方を知る。 既習の表現と本時の表現(Next to ~./Near ~./Between ~ and ~.)を練習する。 お買い物ゲームをする。 (T:ALT A:お使い係 B:道案内係 C:店員) T: I need two carrots for curry and rice. Please go to vegetable store and buy it. A: Help. B: O.K A: Where is the station? B: Go straight. Turn left. Go straight. Between bank and school. (A はメモ) . A: Thank you. (動く) C: May I help you? A: Hello. I 'd like to buy some carrots. C: How many carrots do you want? A: Two carrots please. C: Here you are. A: Thank you. How much is it? C: 2 dollars. A: Here you are. C: Thank you. A・C: See you. 活動を振り返る。 終わりの挨拶をする。
言語文化	・建物やお店の日本語での言い方と英語での言い方や、アクセントの違いに気付く。	・英語での道案内の方法を覚え、何回もインタビューすることで会話に慣れる。	・個数を表現する時に “名詞 + s” を使うことに気付く。	・道案内の方法、お店での注文方法に慣れ親しむ。
音声表現	What 's this?/It 's ~./That 's right. department store/restaurant/supermarket hospital/station/bank/park/library/fire station police station/school/stationery store/bookstore flower shop/vegetable store/ fruit shop fish shop/meat market/cake shop/pet shop	Excuse me./Where is the ~ ? /Go straight. Turn right./Turn left.	May I help you?/I 'd like to buy some ~ . How much is it?/How many ~ do you want? It 's ~ dollars. onion/carrot/potato/cucumber/apple/peach banana/orange/ tuna/shrimp/octopus/salmon beef/chicken/pork/fried chicken/pencil/ruler eraser/scissors/magazine/novel/picture book comic/rose/carnation/tulip/cosmos	Next to ~ . Near ~ . Between ~ and ~ .
評価規準	・ALT の発音を聞き、英語での建物・お店の言い方やアクセントに気を付けて発音しようとしている。	・目的地への行き方を、学習した表現を使い、はっきり伝えようとしている。 ・いろいろな所へ行ってみようと、多くの子どもにインタビューしようとしている。	・店側と客側のそれぞれの買い物の表現を使い、はっきり伝えようとしている。 ・様々な店で様々な物を意欲的に買い物している。	・学習した表現を使い、頼まれたお店までの道案内や頼まれた商品の購入などの活動で、自分の言葉をはっきりと伝えようとしている。
教材	・CD ・建物お店カード ・クイズシート ・ふり返しシート ・Hi, friends! 2	・CD ・建物お店カード ・マップ ・インタビューシート ・ふり返しシート ・Hi, friends! 2	・CD ・野菜や果物などのカード ・建物お店カード ・クイズシート ・ふり返しシート ・Hi, friends! 2	・CD ・野菜や果物などのカード ・マップ ・建物お店カード ・お買い物シート ・ふり返しシート ・Hi, friends! 2